

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

1 学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
	<p>単元：〈知〉のコミュニティへ、体験と思索 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随想の基本的な読み方を習得する。 ・二項対立的な内容を把握しながら、全体の構成を的確に捉える。 ・具体例が示しているものを丁寧に読み取り、筆者の主張を理解する。 ・文章の内容や主張について、自分との関わりの中で考察し、考えをまとめる。 	<p>教材：「わからないくらいがちょうどいい」</p> <p>指導項目・内容：</p> <p>「話す・聞く」 話題の設定、構成の工夫、表現の工夫、評価と考察</p> <p>「書く」 題材の設定、構成の工夫、表現の工夫</p> <p>「読む」 要旨の把握、解釈と考察</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者ならではの特徴的な言葉や文章表現を探し、その効果を理解している。 ・「ところが」「しかし」など、逆接の接続語の働きを正確に理解している。 ・文章の記述と資料との対応関係を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えに対して自分なりの考えを持ち、話し合いができる。 ・筆者の捉え方に対する自分の考えをまとめ、それを支える適切な話題を設定し、表現に工夫を凝らしながら文章にまとめることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・筆者の考えに、自らの経験を照らし合わせて自分なりの言語観を持ち、深めている。 ・教材に関連する本や資料を読むなどして、考察を深めている。 	○	○	○	6
<p>単元：評論解析A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。 ・本文中の対比関係を注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。 ・具体例の働きを理解して、論旨や筆者の主要な見解をつかむ。 ・論理構造を読み解き、話題に対する筆者の見解やその根拠をつかむ。 	<p>教材：「環境世界」「人類学から見る言語」</p> <p>指導項目・内容：</p> <p>「読む」 要旨の把握、解釈と考察</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文末の強い言い切りや読み手に訴える言い回しなどに注目して、主要な見解をつかむ方法を理解している。 ・対照的な事柄を挙げ、比較する形式を取ることで、伝えたい事柄が効果的に説明されることを理解している。 ・具体例の内容を的確に捉えることは、筆者の抽象的な見解を把握する大きな助けとなることを理解している。 ・筆者の見解とその根拠を押さえ、「～は(話題)、～だから(根拠)、～である(見解)」の形で主張を整理できることを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「環境」と「環境世界」、「コトワケ」と「ミワケ」がそれぞれ対比されていることに気づき、両者の違いを説明できる。 ・筆者の述べる見解について根拠を明確にして読み取ることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・本文を論旨に沿って自分の言葉で説明し直し、内容への認識を深めている。 	○	○	○	5	
<p>定期考査</p>				○	○		1
<p>単元：評論 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・具体例を丁寧に読み取りながら論理の展開を把握し、筆者の主張を的確に捉える。 ・ふだん何気なく使っている言葉の働きにあらためて目を向け、自らの言語生活を見つめ直す。 ・本文の読み取りをもとに、自分にとっての「ささやかだが心に染みた言葉」について、文章にまとめる。 	<p>教材：「言葉の力」</p> <p>指導項目・内容：</p> <p>「書く」 題材の設定、構成の工夫、表現の工夫</p> <p>「読む」 要旨の把握、解釈と考察</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「出来合いのだけ大きな表現と正反対の方向」「問題は紛糾してはいない。野望が紛糾しているだけだ」「言葉は氷山の一角」などの特徴的な表現を正確に理解している。 ・「そういうこと」「こういうこと」などの指示表現が指す事柄を正確に理解している。 ・具体的なエピソードと筆者の主張との関係について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えをまとめ、主題を理解している。 ・本文の読み取りをもとに、自分にとっての「ささやかだが心に染みた言葉」について、構成や表現を工夫しながら400字程度の文章にまとめることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大岡信「言葉の力」で述べられた「言葉の変貌」について、どのように「言葉の力」が生み出されているか説明することができる。 	○	○	○	7	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	単元：評論Ⅰ ・ふだん何気なく使っている言葉の働きにあらためて目を向け、自らの言語生活を見つめ直す。 ・本文の読み取りをもとに、自分にとっての「ささやかだが心に染み付いた言葉」について、文章にまとめる。 ・詩作品の表現形式の特徴と、その効果を理解する。 ・大岡信「言葉の力」で述べられた「言葉の変貌」について、その「変貌」の様子を詩作品中に見いだすことを通じて考察を深める。	教材：「二十億光年の孤独」 指導項目・内容： 「話す・聞く」 表現の工夫、評価と考察 「読む」 要旨の把握、解釈と考察	【知識・技能】 ・詩作品の音韻上・表現上の効果を理解している。 【思考・判断・表現】 ・筆者の考えをまとめ、主題を理解している。 ・本文の読み取りをもとに、自分なりの解釈や考察を他者に説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大岡信「言葉の力」で述べられた「言葉の変貌」について、その「変貌」の様子を詩作品中に見いだし、そこからどのように「言葉の力」が生み出されているか説明することができる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元：評論Ⅱ ・評論の読み方を習得する。 ・具体例に着目し、筆者の主張を的確に捉える。 ・「読む」という話題を通して、読む行為のあり方について自分の考えを深める。 ・本文を基にして、創造的な読みを実践する。	教材：「読む」 指導項目・内容： 「書く」 題材の設定、構成の工夫、表現の工夫 「読む」 要旨の把握、解釈と考察	【知識・技能】 ・具体例の働きに注意して、主張されている内容を正確に理解している。 【思考・判断・表現】 ・筆者が考える「読む」行為の意味を捉えている。 ・高度な読みの多様性とおもしろさを、「解釈」という観点において理解している。 ・本文の内容を参考に「読み」について自分なりに考え、構成や表現を工夫しながら600字程度の文章にまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・本文を踏まえて、創造的な読みを実践しようとしている。	○	○	○	7
	単元：評論Ⅱ ・小説の読み方を習得する。 ・登場人物の行動や考え方を的確に捉える。 ・「くま」の心情の変化を表現に即して理解する。 ・作品の主題を捉える。	教材：「神様」 指導項目・内容： 「話す・聞く」 話題の設定、構成の工夫、表現の工夫、評価と考察 「読む」 要旨の把握、解釈と考察	【知識・技能】 ・登場人物の言動に着目して、心情を読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 ・作品の主題を捉えている。 ・高度な読みの多様性とおもしろさを、「解釈」という観点において理解している。 ・本文の内容をもとに、自分なりの解釈や考察を他者に説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・本文を踏まえて、創造的な読みを実践しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元：評論Ⅲ ・論理の展開に着目して、筆者の主張を的確に捉える。 ・「未来世代」と「現在世代」との利害対立という観点から、環境問題に対して認識を深める。 ・本文発表後の地球温暖化防止をめぐる最新の世界情勢を調べたうえで、環境問題の現状や展望について考察し、意見を述べ合う。	教材：「経済の論理／環境の倫理」 指導項目・内容： 「話す・聞く」 話題の設定、構成の工夫、表現の工夫、評価と考察	【知識・技能】 ・「言い換えれば」「しかし」など、接続語の働きを正確に理解している。 ・「倫理」「信任」など、キーワードの意味を正確に理解している。 【思考・判断・表現】 ・「倫理」を意識しながら、全体の構成を的確に把握している。 ・経済学の基本的な考え方、環境問題に対する一般常識と経済学との考え方の違いを理解している。 ・未来世代と現在世代の対立という観点から、地球温暖化問題が経済学の論理では解決できないことを理解している。 ・「信任」関係について把握したうえで、現在世代に倫理的な行動が要請されることを理解している。 ・本文発表後の地球温暖化防止をめぐる最新の世界情勢を調べたうえで、資料を効果的に用いながら討論している。 ・討論を通じて一定の成果が得られるよう、進行のしかたを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・環境問題の原因と解決策を考えることで、教材の内容への関心を高めている。 ・本文発表後の地球温暖化防止をめぐる最新の世界情勢を調べ、自ら問題点を見つけ、その解決策を考えている。 ・「地球温暖化」や「世代間倫理」について論じた評論を読むなどして、考察を深めている。	○	○	○	6

